

学習室

「おみせ と レモンと わたし」



～がんばれモン！プロジェクト～

よこはま観光資源開発の坪井さんと一緒にレモンの木を植えました。まだまだ小さいレモンの木ですが、「大きく育て、たくさんの実をつけてほしい！」と、子供たちはお世話へのやる気いっぱいです。このレモンがこれからどうなっていくのか、とても楽しみになりました。



～郵便局の方の出前授業～

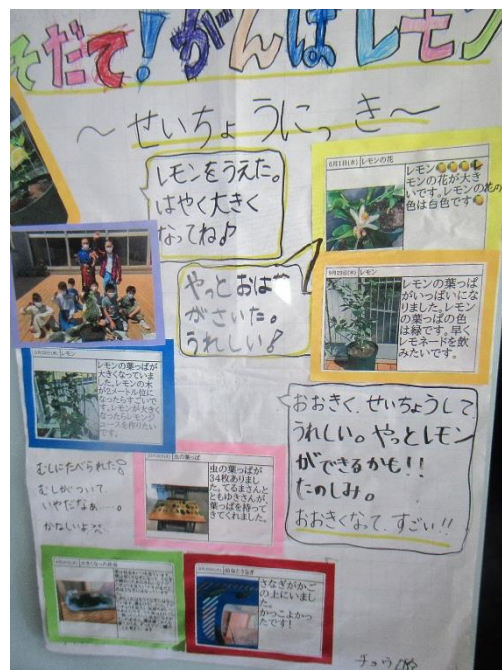
郵便局の方々からお金の秘密や大切さ、お金が回っている仕組みについて教えていただきました。5円玉の秘密では日本の経済の発展への願いが込められていることを知りました。お金の使い方では、「お金は回っている！」というキーワードでお店屋さんごっこをして、お金の仕組みについての知識を深めました。この出前授業を終えて、学習室でも「きらきらなつまつり」を開くことにしました。





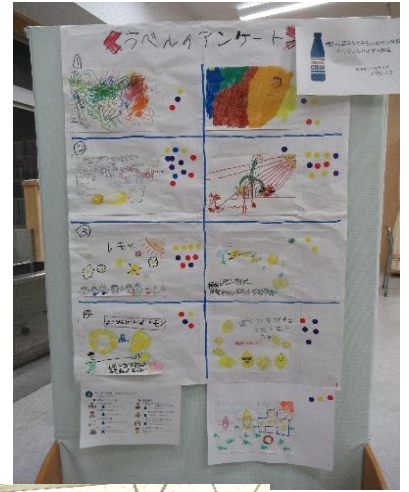
～きらきらなまつり～

「きらきらなまつり」では、お店屋さんとお客さんを交互に体験しながら活動しました。自分の役割を意識して、「あいさつ」「お金」「ルール説明」など、めあてを意識して取り組みました。最後には、お世話になっている先生方や1年生を招待して、楽しいおまつりになりました。



～レモン成長日記～

レモンがすくすく大きく育っています。「レモンの花は白だよ！」「レモンの葉っぱが病気になっている。」など、観察しながら様々な発見がありました。病気の葉っぱを選んでとってみると、43枚もありました！子どもたちはみんなレモンの気を守るために懸命に病気の葉っぱを探していました。また、レモンの葉にアゲハチョウの幼虫がついていることも発見しました。幼虫からさなぎになり、蝶になるまでを観察することもでき、様々な気づきがあり、体験的な学びにつながりました。



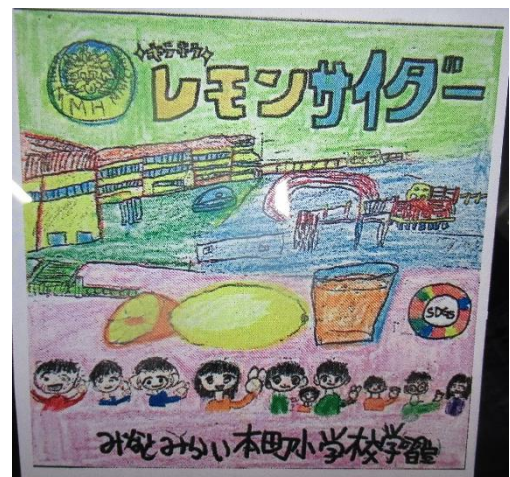
～「みな」と「みらい」を語る会～

「もっと地域の人とつながりたい！」というクラスの思いから、育てているレモンでレモンサイダーを作ることにしました。「みな」と「みらい」を語る会では、これまでの活動やレモンの成長について、また、レモンサイダーのラベルアンケートを行いました。一人ひとりラベルを考えて、発表の際には、どうしてそのデザインにしたのか「ラベルへの想い」と伝えることができました。



～レモンサイダーのラベル決定！～

アンケートをもとに、レモンサイダーのラベルが決定しました！発売が楽しみになりました。





～キッザニア遠足でお仕事体験～

レモンサイダーを販売するにあたり、「仕事」への関心が高まりました。しかし、キッザニア遠足の前の仕事のイメージを聞くと、「大変。」「疲れる。」「怒られる。」「クビにされる。」など、ネガティブなイメージが多かったです。遠足では、様々な仕事の体験をすることができ、仕事の楽しさやお給料を使ってまた違う体験をしたりとよい遠足になりました。



～レモンサイダー販売へ向けて～

レモンサイダーの販売にあたり、使われている「瓶のひみつ」について海老沢さんに教えていただきました。リサイクルの方が「リユース瓶」よりもが地球環境によいことを学びました。リユース瓶が広まらない背景には、回収率が低いことや、リユース瓶についてまだまだ知られていないことを知ることができました。子供たちは、リユース瓶のことを地域の人にもっと知ってほしいと、ポスターを作成しました。学習室で作ったレモンサイダーの販売に向けて、値札とポスターも作成し、実際に販売する日が待ち遠しくなりました。